



いのちを「学ぶ」って

わくわくする。



公益社団法人 京都保健会

近畿高等看護専門学校

いのちと人権を守る

看護師に育ってほしい

挑む

誰もが伸びる可能性を持った「新芽」

人間的な
発達

つながる

認め合う
育ち合う
つなぎ合う

学ぶ

人間として
看護師として
自ら学び続ける

教育理念

本校は、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させるとともに、日本国憲法の理念に基づき、平和で民主的な社会の形成者として、国民の基本的人権を尊重し医療・福祉に貢献できる、心身ともに健康で人間性豊かな看護師の育成を期して教育を行なう。

メッセージ

Message

「好きだから看護師になる」
と言えること

神田 千秋
学校長

おばあちゃん子だった私の子どもの頃、頭が痛いと言ったら、額に梅干をちぎって貼ってくれたことがあった。おまじないみたいなことだったけれど、不思議に痛みが軽くなったことを覚えています。皆さんも「痛いの、痛いの、飛んでけえ」とお母さんやお父さんに言われた記憶はあるのではないだろうか。

ここに流れる心持の在り様、か弱いものへの愛着と願い。それが看護の根源的な由来ではないかと思います。

皆さんが看護師を目指そうと考えるに至る道筋はいろいろあると思います。理由も様々でしょう。しかし、その気持ちを持続させ、たくさんの課題をこなして卒業し、卒業後も厳しい職場（どの職業でも厳しくない職場というものはありませんが）で続けていくためには、何が最も大切なことでしょうか。

私は、「それが好きだから」と言えることだと思います。入学する前から、看護が好きで好きでという方もいるかもしれませんが、おそらくそのような人は少数です。

言っていることが矛盾しているのではと思われるかもしれませんが、「本当に好きだ」ということが分かるのは、実は、ある程度、看護の仕事を続けない限り、実感できない、それが現実なのです。始めからこれが天職などと分かるものではないということです。

たしかに論理的な説明ではありませんが、人生における選択と決断のほとんどは論理的帰結からそれを決めていません。たとえば、恋におちいるにしても、結婚の相手を決めるにしても、その時はこの人こそが世界中でいちばん愛しているとみんな思っていますが、全員を当たって確認したわけでもなく、たまたま巡り

合った人をそのように思っているだけです。だからと言って、それで何も悪いことは全くありません。

「それが好きだ」と言い切るためには、それなりの忍耐と研鑽を積み重ねなければならないこと、そのプロセスが経ないかぎり到達できない境地だと言いたいのです。

それは山登りに例えられるかもしれません。頂上の景色の素晴らしさを心から味わうことが出来るのは、地道にひたすら登ってきた道のりの長さがどれだけあるのかにかかっているのです。ヘリコプターでいきなり頂上に上ってもその感激を得ることが出来ません。

私たちは、皆さんが「看護が好きだ」と言えるようになるために、援助をします。

そういう思いで巣立ってくれることが、私たちの願いです。

数字でわかる「きんかん」の**特徴**

2022年 第111回
国試合格率

100%

2022年 第111回 全国合格率91.3%

低学年からの国家試験対策で
安心して看護師を目指せます。



就職率

100%

民医連立の学校なので
就職先も安定しています。



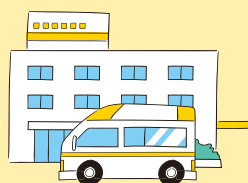
創立 **50** 周年

今年50周年を迎えます。
今まで多くの看護師が近看から卒業しています。
卒業生は1,535名となりました。(2023年3月末現在)



実習施設数

54 施設



設置主体となる民医連の施設を中心に
豊かなフィールドで学ぶことができます。

P12参照

少人数で
顔の見えるつながり

35人
1学年



クラスの中や、学年を越えたつながりを大切に
しています。また、担任チーム制で顔のみえる
つながりの中で学びをサポートしています。

Egg Nurse の三年間

1年生

新しい仲間、新しい自分と出会い、人を学ぶ

様々な出会いを経験しながら看護を学ぶ“わたし”をスタートさせ
ます。多様な背景や生活を営む人々を理解するために必要な基礎的
知識・技術・態度など看護を学ぶための土台となる基礎をはぐくむ
時です。



P.6-7

2年生

知識を広げ、看護を知る

1年生で学んだことを土台とし、その人の背景や人となりを理解し、
多様な人々がより健康に暮らしていくために求められる看護、病気
や障がいなどに応じた看護など、さらに専門的な知識を身につけて
いく時です。

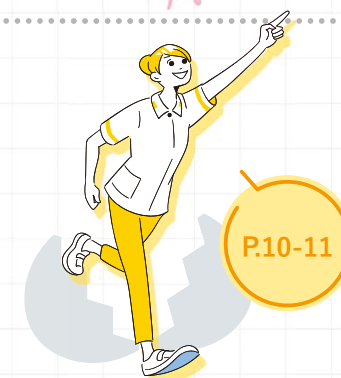


P.8-9

3年生

対象と関わり、自分の看護が見つかる

これまでに得た知識を土台に、命の発生から命の終末をむかえる方
に対し、その人らしさ(個別性)や健康段階に応じた看護を実践して
いく時です。そして、「看護とはなにか」を追求し、看護に対する
考えを豊かに膨らませていく時です。



P.10-11

学校行事

EVENT

オープンキャンパス

来て!見て!きんかん!!

「実際の学校の雰囲気わかり、とても良かった。」
「気になっていたことを交流会で聞けてすごく
ためになった!」参加者の感想です。看護技術
コーナーや、在学生との交流会を企画し、少
でも学校生活がイメージできるよう工夫して
います。また、在学生主体の運営となっており、
アットホームな雰囲気のオープンキャンパスを
体験していただくことができます。

詳細は
学校ホームページや
Instagramで
確認できます



近看祭

思いっきり体を動かしたい!
全力で「楽しむ」!

年に一度の「近看祭」。全学年、クラスが一致団結・交流
を楽しみます。授業の中では見えない、キラリと光る
個性が見え隠れするのも行事ならではの、どんなことが
できるか、何をしたいか、2年生が中心となって考えます。





新しい自分と出会い、

新しい仲間、

人を学ぶ

1年生

出会いの時です。看護学校に入学して、同じ志を持ったクラスの仲間、看護を学ぼうとする自分、そして看護。様々な出会いを経験しながら看護を学ぶ“わたし”をスタートさせます。多様な背景や生活を営む人々を理解するために必要な基礎的知識・技術・態度など看護を学ぶための土台となる基礎をたくむ時です。

学年イチ推し PICK UP 授業

基礎看護学方法論



看護へのステップ

基礎看護学方法論では、看護の基本となる概念理解や看護の役割、人権や倫理的視点に基づく看護実践の基本的態度を養います。看護の対象である人間理解、看護実践をおこなうにあたって必須である対象とのコミュニケーション技法、そして直接的に看護を提供する際に用いる看護技術を学内演習で学びます。学内演習では、安全・安楽な技術の習得を目指して、一人一人が技術の実践をおこないます。同時に患者体験から「もし、自分だったら?」と考えるきっかけとなり、患者の立場に立った看護につながっていきます。さらに、看護を実践するプロセスである看護過程、ものごとを客観的に評価するために必要なクリティカルシンキング、看護の対象から情報を得るためのヘルスアセスメントなども学んでいきます。学内演習、看護過程共に少人数制でグループを組み学生間で共に学習しながら担当教員からの助言を受けながら学びを深めていきます。

基礎看護学方法論は、学内演習や講義を通して、看護のことを学べる授業なので、とても楽しく学ぶことができました。初めて聞く言葉や難しい内容もあったけれど、看護師に近づいている感じで、興味を持って取り組むことができました。看護技術に関しては、学内演習後の技術の振り返りを記録することの大変さや技術試験に苦戦をしたけれど、それを乗り越えて、看護技術を習得することができました。



カリキュラム Curriculum



学内技術演習

学内演習では、少人数のグループ制をとり、学生同士で患者役、看護師役になることでリアルな学内演習を行います。各グループに担当教員が付き、安全・安楽に基づいた看護技術の習得を目指します。



憲法学Ⅱ

憲法学Ⅰでは、平和で民主的な社会の形成者として、憲法について学びます。その学びをさらに深めていく憲法学Ⅱでは、人権、平和、看護について課外授業も行いながら自分達の考えを深めていきます。

カリキュラム一覧

- 基礎分野
 - 文化芸術論
 - 教育学
 - 心の科学
 - 憲法学Ⅰ
 - 憲法学Ⅱ
 - 論理学
 - 基礎科学
 - 情報社会学
 - コミュニケーションスキル
 - 健康運動学
- 専門基礎分野
 - 生命科学
 - 人体のしくみⅠ～Ⅴ
 - 臨床生化学
 - 病理学
 - 微生物学
 - 公衆衛生学
- 専門分野
 - 基礎看護学概論Ⅰ
 - 基礎看護学方法論Ⅰ～Ⅳ
 - 地域とくらしⅠ
 - 地域とくらしⅡ
 - 成人看護学概論
 - 老年看護学概論
 - 小児看護学概論
 - 母性看護学概論
 - 精神看護学概論Ⅰ
 - 精神看護学概論Ⅱ
- 実習
 - 基礎看護学実習Ⅰ
 - 基礎看護学実習Ⅱ



基礎看護学概論Ⅰ

「人間」「健康」「環境」「生活・労働」「看護」との関連について考え看護とは何かを学習していきます。また、看護の歴史や看護の機能と役割を学びます。



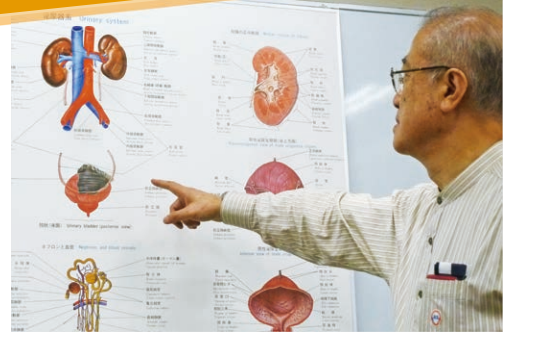
成人看護学概論

成人期の発達課題を見る・聞く・触れる・感じるフィールドワークを通して、学んでいきます。成人期の特徴でもある、「生活」「労働」「健康」の視点を持ちながら看護を実践できる力を養っていきます。

人体の構造と機能 素晴らしい生命現象を学ぶ

人体のしくみはⅠ～Ⅴに分け科目立て(※1)されています。看護の対象は人です。看護師はその人がより健康に生きていくことを支援します。また、病気や障がいがあってもその人らしく、より良く生きていけるように支援することが、看護師の役割です。そのためには、病気の成り立ちとその治療、症状を理解する必要があります。その土台となるのが「人体のしくみ」です。看護の対象となる人々に共通した体の仕組みとはたらきを学び、科学的な看護実践へとつなげる重要な科目です。とはいえ、普段見えないところで意識せずに営まれている身体内部のはたらきを理解することはとても難しいことです。また、看護学生になって初めて聞く言葉に悪戦苦闘することもあります。そのため、「人体のしくみⅠ～Ⅴ」では、教科書はもちろん、模型などを使いイメージしながら、学んでいけるよう工夫しています。さらに、臓器や器官のつながり、全体像を把握するための演習を取り入れ、学習を進めています。人体のしくみの学習が進むにつれ、また、基礎看護学、実習など新しい学びを積み重ねる中で、生命現象の不思議や素晴らしいさに気付いていきます。

人体のしくみ



(※1) 人体のしくみⅠ 呼吸と血液のガス交換
 人体のしくみⅡ 循環器
 人体のしくみⅢ 栄養の消化と吸収、体液の調整と尿の生成 内分泌
 人体のしくみⅣ 体の支持と運動、脳神経
 人体のしくみⅤ 生殖と発生、老化のしくみ、情報の受容と処理 免疫機能の防御と適応



学生 VOICE

他の授業で「その人を尊重し尊厳をまもること」について学習しました。そして、そのためには、相手の話を聞き、心(相手の気持ちや思い)を理解すること。身体の状態を理解することの必要性を学びました。身体の状態を理解するためには異常がわかる必要があります。しかし、正常が分からなければ異常に気付くことはできません。また、人体のしくみの授業の初めに「解剖学は人体の正常を学ぶ学問である」と学びました。ただ、人体の構造について学ぶだけではなく、看護学校で学ぶすべての授業(学問)につながる基盤となる授業です。



知識を
広げ、

看護を
知る

2年生

1年生で学んだことを土台とし、その人の背景や人となりを理解し、多様な人々がより健康に暮らしていくために求められる看護、病気や障がいなどに応じた看護など、さらに専門的な知識を身につけていく時です。また、3学年の中心となり、学校行事などの運営にもかわり自主性や創造性を身につけていきます。

学年イチ推し
PICK UP 授業

医療論



正しく知る・患者の声から医療を考える

2年生後期では、今まで学んできた「いのち」「人権」「病気」「看護」等を取り巻く現状を深めていく「医療論」という授業があります。患者さんや労働者の立場などの外部講師に多様な分野のお話を聞いて、看護職者としての看護観を育みます。1回目から5回目は「ハンセン病」の歴史について考えます。「私たちがすべきことは正しい知識をつけること」「差別のない世の中にしたい」と、学生は自分の言葉で述べて発表をします。看護学校では、知識をつけ暗記するという授業だけでなく、自分たちが考えて、自分の意見を述べる力も必要になります。また、クラスメートの意見も聞いて、視野を広げます。医療論では、全国B型肝炎訴訟の原告団・弁護団の方を講師に招き、B型肝炎の正しい知識をつけるとともに、患者さんの声を聞ける授業もあります。

医療論ではハンセン病の歴史について学びます。なんとなく聞いたことはありましたが、詳しく学ぶのは初めてでした。未知の感染症に対する差別や偏見があり驚きましたが、今の時代にも共通することだと思います。講義をうけ、学生間でグループワークをしました。私たちができることは何だろうと考えたときに「正しく知ることが大切」だと思います。全国B型肝炎訴訟の講義では、B型肝炎をかかえる患者は、「3つのいたみ」を抱えている、医療従事者の言動に傷ついた話を聞きました。学生時代に患者さんの生の声を聞ける授業はとても貴重です。患者さんが抱えている気持ちを知ることが大切だと思いました。



カリキュラム
Curriculum



老年看護学実習 I
老年看護学実習 I では、診療所、デイケア・デイサービス、介護保険施設などに行きます。地域で生活する高齢者の暮らしや多職種役割を学び、対象のいのちと健康を守る取り組みについて学習を深めます。



疾病と治療
看護師は、患者の異変にいち早く気づき、適切な対応を行える力を身につけることが大切となります。疾病と治療では、1年生で学んだ病理学の知識を基礎に、疾病の成り立ち、診断、治療、検査について学びます。



小児看護学方法論
2年生は、対象のライフステージや疾病・障がいに応じた看護について学びます。小児看護学方法論では、こどもの遊びや生活の様子を見聞きしながら、こどもの生きる力を手助けし、成長・発達に応じた看護について学びます。



健康段階に応じた医療
急性期～終末期医療まで、多様な健康上のニーズをもつ人々に対して、基本的な看護の知識や技術を統合し、健康の回復を支援する方法を学びます。どんな状況にあっても、その人らしさに働きかけることの大切さについて学びます。

カリキュラム一覧

- 基礎分野
 - 哲学
 - 国際・文化論
- 専門基礎分野
 - 栄養学
 - 疾病と治療 I～V
 - 臨床薬理学
 - 健康段階に応じた医療
 - 医療論
 - 社会福祉学
 - 関係法規
 - 防災リテラシー
- 専門分野
 - 基礎看護学方法論 VII
 - 臨床看護総論
 - 地域・在宅看護論概論
 - 地域・在宅看護論方法論 I～III
 - 成人看護学方法論 I～V
 - 老年看護学方法論 I・II
 - 小児看護学方法論 I～III
 - 母性看護学方法論 I・II
 - 精神看護学方法論 I・II
 - 医療安全
 - 看護マネジメント I
- 実習
 - 老年看護学実習 I
 - 成人看護学実習 I



心で見て 手と目で支える「看護」

成人看護学実習 I は、学内で学んだ看護過程をもとに、受持患者との関わりを通して、看護を実践するための基本的能力を養うことを目的とした実習です。対象とのコミュニケーションを通して、その人の思いや生活背景を理解しながら、「必要な看護は何か？」を考えていきます。また、学内で学んだ知識・技術を統合しながら疾患学習を深め、「なぜ息苦しいのか」「息苦しさを緩和するために何ができるのか」など、対象の心身に起こる症状や障がいを観察し考察する力を高めていきます。学生は、看護の実践を通して看護する喜びや難しさを実感するとともに、自己の到達と課題に気づいていきます。それらの体験は、「看護師として働く自分」を意識するきっかけとなり、今後の成長に大きくつながります。

成人看護学実習 I



受持患者の A 氏は足病変があり、フットケアや足部の観察が必要な患者様でした。A 氏自身が足部の状態に関心がもてるのが大切だと考え、日々のコミュニケーションを通して A 氏の思いが表出できること、信頼関係を築くことを大切に関わりました。その結果、「きれいになった」「この傷は知らなかった」など、足病変に関心をもつ発言がみられるようになりました。最終日には、説明に使用したイラストを「帰ってもベッドの所にかけておく」と言ってくださいました。実習期間中、援助を断られたこともありましたが、必ず何かしらの理由がありました。どんなに多忙な環境でも、対象を知ろうと思う気持ち、一人の人間として気遣う気持ちが信頼関係を築く上で大切なことだと思います。ケアを作業にせず「心でケアすること」を、これからも大切にしていきたいです。



自分の看護が見つかる

対象と関わり、

3年生

これまでに得た知識を土台に、命の発生から命の終末をむかえる方に対し、その人らしさ(個性)や健康段階に応じた看護を実践していく時です。そして、「看護とはなにか」を追求し、看護に対する考えを豊かに膨らませていく時です。また、3年間学び合ったクラスの仲間とともに自己の成長を実感しつつ、看護師国家試験の受験に臨みます。

カリキュラム Curriculum

実習前学内実習



5月から始まる領域別実習に向け、老年・小児・母性など各領域の知識の復習や、看護技術を再確認します。実習内容をイメージし目標の到達に向けた準備性を高め、実習に臨みます。

臨地実習



臨地実習のほとんどが、設置主体である京都市民連の病院や施設で行われます。臨地実習では、実践の支援や記録指導、カンファレンス助言など、実習指導者の丁寧な指導のもと、学生は学びを深めていきます。

統合演習



統合実習前の統合演習の様子です。統合演習は3年間の集大成として行われる統合実習の前に、SP(模擬患者)にお越しいただき、実際のベッドサイドを再現した状況で演習を行います。優先順位を考えながら、自分たちで看護を組み立て実践し、リフレクションから安全・安楽な看護について考えます。

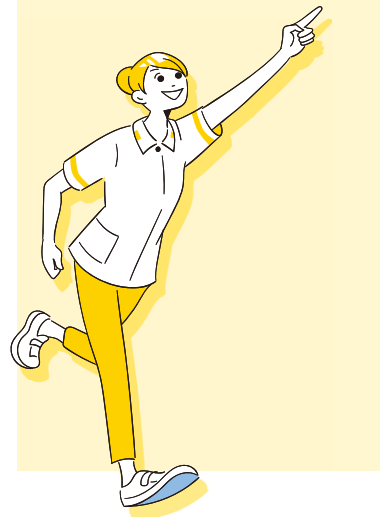
国家試験学習



2月に実施される看護師国家試験に向けた取り組みです。低学年から始める国試対策に加え、3年生では模擬試験、国試対策ゼミなどをもちながら進めていきます。クラス全体で学習ムードを高め全員合格に向け、3年生として団体戦で取り組んでいきます。

カリキュラム一覧

- 専門分野
 - 基礎看護学概論II
 - 看護マネジメントII
 - 国際・災害看護
- 実習
 - 地域・在宅看護論実習
 - 成人看護学実習II
 - 成人看護学実習III
 - 老年看護学実習II
 - 小児看護学実習
 - 母性看護学実習
 - 精神看護学実習
 - 統合実習



学年イチ推し PICK UP 授業

領域別実習



※領域別実習「小児看護学実習」の写真です

たくさんの出会いの中で看護を深め成長する ～在宅看護論実習編～

5月から始まる臨地実習では、様々な現場で実践される看護と出会います。それぞれの領域に特有の専門的な視点で“看護とは何か”を思考し看護に対する考えや技術・態度を、実践を通し学びます。

例えば、在宅看護論実習では、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所に向き看護を学びます。そして、「対象者の暮らしをみる、思いを知る」を大切に、その人とその家族ならではの暮らしや思いを知り、疾患を抱えながらも生活者として住み慣れた地域で暮らしているよう看護を考え実践します。「台所の大型鍋や調理器具から、A氏のこれまでの暮らしが想像できた。住み慣れた家だからこそ、A氏はこのままの生活を送りたいと願っている。しかし、病気が進行するとその願いが叶えにくくなる。」これはカンファレンスでの学生の発言です。本人とその家族の暮らしと暮らしを知ること。そして、疾患や障がい暮らしや思いにどのように影響及ぼしているのかを考えていくことから在宅での看護が始まっていきます。

最初は、患者さんのもとへいき、かかわること、前に立つことにとっても緊張していましたが、でも、患者さんがより良い療養生活を送り、地域に戻り生活するためには、どんどんとかかわり、看護を考えていくことが必要だと学ぶことができました。そして、その方の思いや訴えを大切にしたいという考えだけではなく、その人にとってのより良い方向を、情報や知識をもとに十分アセスメントし、根拠ある看護を実践することが重要だと理解することができました。



3年間の集大成としての取り組み

卒業論文発表会は基礎看護学概論IIの授業に位置付けられています。3年間のこれまでの実習から、事例研究として一事例をとりあげ、卒業論文として“卒業論文発表会”で発表します。食育、排泄すること、活動することなど、その人の日常生活に着目し実践した看護や、家族への実践についてなど、事例を振り返り、「自らの看護実践にはどのような意味があったのか」を問い直します。そして、文献の紐解きや文章として完成させる行程のなかで、考えを深化させ自らの問いに答えていきます。また、卒業論文発表会では、学生間で講評を行います。論文作成や講評の体験は、物事を客観的にとらえ分析していく力(クリティカルシンキング)をつけていくことにもつながります。さらに、当日、該当実習の指導者から一人ひとりの学生に対し、先輩看護師としての助言や、卒業後ともに働く仲間として心温まるメッセージを寄せていただいています。学生は、卒業論文の取り組みと発表会を通し、一回り大きく成長した姿を見せてくれます。

卒業論文発表



自分の看護の実践を振り返る機会になりました。改めて振り返ったり、文献を用いて患者さんのことや、自分が実践したことを照らし合わせることで、実習中は無我夢中で気づかなかった“自分の看護”について考えることができました。文章を論文として書きまとめるのはとても大変でしたが、出来上がると充実感もあります。

また、共に学んだ仲間の発表を聴き、自分の看護観がさらに深まったと感じました。発表当日はとても緊張しましたが、学生同士の講評や指導者さんからの温かい講評をいただき、発表後は爽やかな気持ちになりました。

豊かな学びのフィールド

京都民医連は「いつでも、どこでも、誰もが安心して良い医療・介護・福祉を」という願いのもと、お金のあるなしにかかわらず、困っている人、弱い立場にある人たちに寄り添い、ともに歩む医療機関・介護事業所です。1953年に創立し、京都民医連の施設は、現在、京都府内4ヶ所の病院、27ヶ所の診療所、15ヶ所の訪問看護ステーションなどが加盟しています。その京都民医連で、急性期から在宅まで多岐にわたるフィールドで実習できるのも魅力の一つ。実習先と学校が連携し、たくさんの職員に支えられながら安心して実習を行うことができます。



主な実習先

公益社団法人京都保健会

- 京都協立病院
- 京都民医連中央病院
- 京都民医連太子道診療所
- 春日診療所
- かどの三条こども診療所
- 訪問看護ステーション太秦安井
- 仁和診療所
- 総合ケアステーションわかば
- 上京診療所
- 吉祥院病院
- 吉祥院こども診療所
- 久世診療所
- 九条診療所
- 吉祥院訪問看護ステーション
- 訪問看護ステーションかみの

医療法人葵会

- 介護医療院おおみや葵の郷
- 紫野協立診療所
- 上賀茂診療所
- 葵会総合ケアステーション

社会福祉法人七野会

- 老人福祉総合施設原谷こぶしの里
- 介護老人保健施設ライブリィきぬかけ

社会福祉法人みつばち福祉会

- みつばち保育園

医療法人西七条厚生会

- 訪問看護ステーションこもれび

医療法人稲門会

- いわくら病院

社会福祉法人保健福祉の会

- 介護老人保健施設西の京
- 特別養護老人ホーム都和のはな
- 洛西保育園
- 白い鳩保育園
- あらぐさ保育園

公益社団法人信和会

- 京都民医連あすかい病院
- 川端診療所
- 東山診療所
- 大宅診療所
- 介護医療院茶山のさと
- 訪問看護ステーションたんぼぼ
- 訪問看護ステーションどんぐり
- 訪問看護ステーションひまわり

KINKANでの学びが、**原点**です。

近看では、チームワークや主体性が身に付き、医療現場で活かしています



山内 竜馬 さん
(病棟看護師)

専門的な知識を活かしながら、日々患者さんとともに頑張っています



布留川 美帆子 さん
(師長・皮膚排泄認定看護師)

毎日、生命の誕生に感動しています



由良 紗季 さん
(助産師)

雨の日も、風の日も、いつも元気に笑顔を届けにまいります



大切 侑子 さん
(訪問看護師)

子育てと看護と、どちらも私を成長させてくれます



立花 史緒 さん
(病棟看護師)


患者さんとの出会いを大切に、患者さんが安全にまた安心して手術を受けられるよう努力しています



山内 未奈 さん
(手術看護認定看護師)

学費・奨学金制度

入学後必要経費

	入学時	前期(4月末)	後期(9月末)
1 年次	250,000円(入学金) 205,000円(前期授業料) 230,000円(運営維持費)	150,000円(預かり金)*	205,000円(後期授業料)
2 年次		205,000円(前期授業料) 230,000円(運営維持費)	205,000円(後期授業料) 150,000円(預かり金)*
3 年次		205,000円(前期授業料) 230,000円(運営維持費)	205,000円(後期授業料)

*1年次4月及び2年次9月の預かり金は教科書代(タブレット代含む)、ユニフォーム代、模擬試験代等の費用を3年間で300,000円を1年次と2年次で分割納入、過不足時を卒業時に最終精算

京都民主医療機関連合会に加盟する法人の奨学金制度

申込みは合格者向けに開催される奨学金制度の説明会に参加後に申し込んだ者が対象になります。(募集定員あり)入学後でも奨学金を必要とされる場合は、学校を通じてご相談ください。

55万円から220万円の範囲で貸付があり、3年間の学費に充当できる額になっています。奨学生が看護師国家試験に合格し資格取得後、奨学金を受けた法人に勤務した場合、その就労の期間に応じて返済を免除します。

*年度によって説明会の実施形態等、若干異なります。詳細は京都民医連までお問合せください。

ナースの夢を
京都民医連が
バックアップ



詳しくはこちらへ



各種奨学金や学びの支援

独立行政法人 日本学生支援機構

第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)制度(貸与)があります。収入や学業での審査あります。高校在学時に予約採用の募集もありますが、本校に入学後も申し込むことが出来ます。詳細は入学後に説明会を開催します。

※第一種、第二種ともに返還が必要です。



詳しくはこちらへ

京都府看護師等 修学資金

法令に定める額(2022年度の場合、月額36,000円。貸与の条件などの募集については入学後に学校で説明会を開催します。



詳しくはこちらへ

専門実践教育訓練 給付金

本校は専門実践教育訓練給付金の支給対象となる厚生労働大臣指定講座を運営する教育訓練施設です。受給資格の有無はお住まいのハローワークへお問い合わせください。



詳しくはこちらへ

高等教育 修学支援新制度

「大学等における修学支援に関する法律」の成立を受け、2020年4月より、高等教育の修学支援新制度がスタートしました。本校も2022年4月文部科学省より本制度の確認校として認定を受けています。支援の対象となる非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学生に対して、授業料等減免の支援を行い、日本学生支援機構の給付奨学金も利用できます。



詳しくはこちらへ



近看のスクールソング

KINKAN School Songs

近畿高等看護専門学校
School Song

生命とともに

詞 4・5・6期生と
教員・生徒
曲 山本忠生



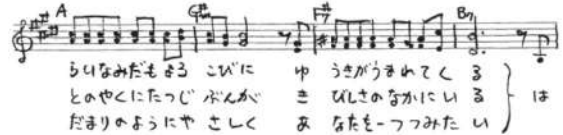
1. やさしさに - あこがれて ほうも ひとつおんなだ
2. テスト勉強 かけた い - しけんなんだいにおわれ
3. いのちの - はじまりとおわれりてみつけていると



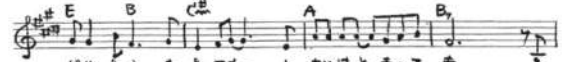
きびしいおまの りこえは やさしさをいこくはか - お
つぎきかば、ここまきて わたしを せくたてた - は
「おたくなははげまきて、はじめのゆめがみえてくる - 「え



たがいを せつ にして い とつなかまになんか はっ
りあったり - つはりも うつとめがからゆけ は
とりに - ないんだ - こころにうけとるの へん



らになみたもさる こびに ゆうきがあつてくる } は
とのやくにたつし ほんが き びしきながにいろ
だまりのようによさしく あなたも一つみたし



じめようまあてと - とせにはとあてと
えむけとせはこえがけあふ こころよせと ながた



と - とりこも とつとせと - ちろこ
はに - むがて いのちととも - 2000.3.2

公益社団法人 京都保健会

近畿高等看護専門学校

厚生労働大臣指定看護師等養成所 / 看護師国家試験受験資格取得 /
医療看護課程専門士 / 4年制大学編入資格取得 / 保健師・助産師学校受験資格取得



〒604-8454
京都市中京区西ノ京小堀池町5-2
TEL.075-841-7430
FAX.075-802-0690
✉ kinkan@kyoto-hokenkai.or.jp

近畿高等看護専門学校 検索



- アクセス /
- JR嵯峨野線(山陰線)利用の場合、「円町」駅下車徒歩約10分
 - 地下鉄利用の場合、東西線「西大路御池」駅下車徒歩約10分
 - 阪急電鉄利用の場合、阪急「西院」駅下車、市バス「西大路四条」停留所から202・203・205号(北行き:所要約5分)乗車、「太子道」下車、太子道通りを西へ徒歩約5分
 - 市バス利用の場合、「太子道」下車、太子道通りを西へ徒歩約5分または、「西ノ京円町」下車、徒歩約10分

